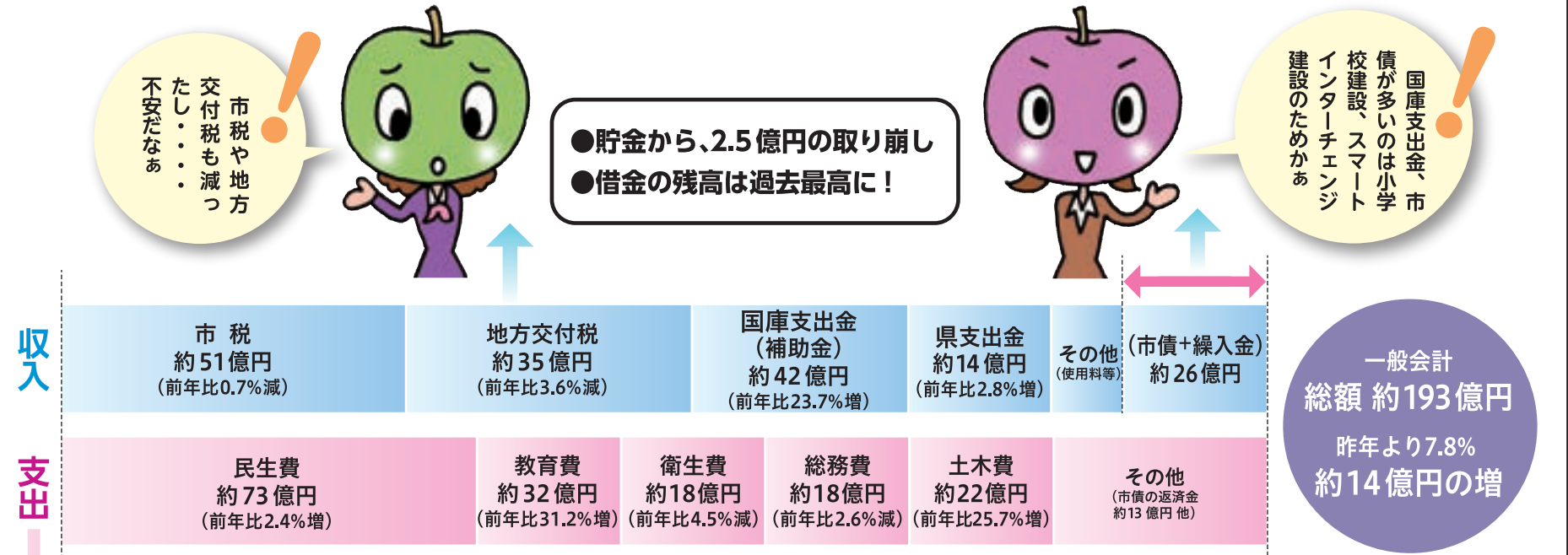


# 30年度 滝沢市の 台所事情

30年度の予算は、歳入をしてみると「貯金(基金)の取り崩し」「新たな借り入れ(借金)」などにより、前年度と同様に厳しい財政状況が継続しています。

そして、歳出でも「民生費」が児童福祉法及び障がい者総合支援法などの規定により扶助費が増え、前年度より2.4%、額で1億7523万円伸びており、全体の総予算の38.1%を占めています。

また、滝沢中央小学校、滝沢中央スマートインターチェンジの整備費が盛り込まれており、「教育費」「土木費」が伸びています。将来への投資が色濃い内訳となっています。

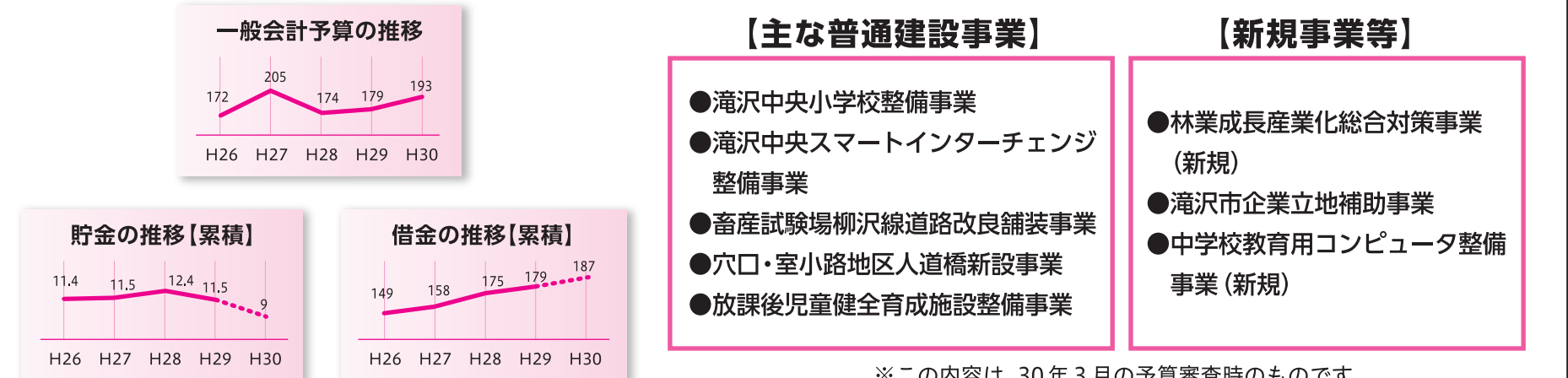


**滝沢中央小学校の建設本格化**  
**滝沢中央スマートインター整備工事の継続**

事業はどんなのがあるの？  
いろいろ取り組んでいるんだ

5年間を比べてみるとどうなるのか

厳しい財政



- 【主な普通建設事業】**
- 滝沢中央小学校整備事業
  - 滝沢中央スマートインターチェンジ整備事業
  - 畜産試験場柳沢線道路改良舗装事業
  - 穴口・室小路地区人道橋新設事業
  - 放課後児童健全育成施設整備事業
- 【新規事業等】**
- 林業成長産業化総合対策事業(新規)
  - 滝沢市企業立地補助事業
  - 中学校教育用コンピュータ整備事業(新規)

※この内容は、30年3月の予算審査時のものです。

事業は2000万円の予算で、今後33年度までの事業期間に総額1億4000万円の事業費が予定されています。

この事業は、小岩井地区はもとより、本市としても公共交通機関の利用促進と周辺地域の活性化が図られ、さらには小岩井農場との連携を行うことで観光面としても集客に大いに期待するところだ。

なお、現総合計画では「幸福感を育む環境づくり」をキーワードにしています。今回の予算審査において「健康づくり宣言」に伴う地域づくりの根幹を議論しました。

30年度以降、地域づくりの推進体制のさらなる強化が必要ですが、各部長をはじめ全ての職員が地域づくりを意識して取り組むことを望みます。

以上、今日大変厳しい社会情勢の中での予算編成であったと評価するとともに、滝沢市一般会計予算に賛成します。

**反対(国民健康保険特別会計)**  
**桜井博義議員**  
**日本共産党**

国民健康保険の加入者は、農家や自営業者が減り続け、無職高齢者が増加し財政が厳しくなる中、医療費は増え続けて

と考えることから反対討論とします。

**反対(介護保険特別会計)**  
**桜井博義議員**  
**日本共産党**

本市においても軽度の認定者の割合が増え、早期に利用することで要介護の重症化を防いでいるのが実態です。

今回の見直しによって保険料は全ての段階で値上げとなり、前年度予算よりも7370万円、率にして8.5%の増、一方の給付の伸びはわずか3.3%に留まり、第7期計画の初年度として積立金も盛り込んでおり値上げの要素は考えられません。

29年度から要支援認定者の訪問介護と通所介護が予防給付から外され総合事業に移行となり、30年度より完全移行になります。

要支援1・2の方々のデイサービスと生活支援サービスは総合事業に移し介護保険から外すことになっていますが、これは保険料だけ徴収しながらサービスは受けられないという、まさに保険あつて介護なしを広げるもので容認できかねると考えます。

よって、30年度介護保険特別会計予算の反対討論とします。

件名	請願の趣旨	請願者	結果
1 ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願	政府が進めているライドシェアの導入に反対し、安全・安心な地域公共交通としてのタクシー事業を守る諸施策を推進するよう、日本国政府に対して意見書を提出されますよう請願いたします。	生活交通をつくるいわての会 共同代表 小野 幸宣 石橋 乙秀 山中 俊介 八幡 博文 野中 靖志 石川 昌平 佐藤 浩之	採択

## 平成29年度滝沢市議会政務活動費報告 (単位:円)

No	支払先 氏名	前期支払		後期支払 金額	支払合計	精算金額	返納金	執行率	支出内訳(報告書)														
		金額	変更						調査研究費	研修費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費	その他	計					
1	一新会代表 遠藤秀鬼	540,000	30,000	630,000	1,200,000	786,276	413,724	65.52%	777,252													786,276	
2	滝政会代表 角掛邦彦	270,000	60,000	450,000	780,000	739,966	40,034	94.87%	273,162	448,162	3,630												739,966
3	公明党代表 相原孝彦	180,000	0	180,000	360,000	333,314	26,686	92.59%	138,792	80,348													333,314
4	新志会代表 山谷 仁	180,000	0	180,000	360,000	349,456	10,544	97.07%	268,780	50,960												5,540	349,456
5	日本共産党代表 桜井博義	180,000	0	180,000	360,000	358,760	1,240	99.66%	101,180	217,380													358,760
6	齋藤 明	90,000	△30,000	0	60,000	35,240	24,760	58.73%	35,240														35,240
7	武田 哲	90,000	△30,000	0	60,000	0	60,000	0.00%															0
8	日向 清一	90,000	△30,000	0	60,000	0	60,000	0.00%															0
9	佐藤 澄子	90,000	0	90,000	180,000	162,872	17,128	90.48%	66,796			10,000											162,872
計		1,710,000	0	1,710,000	3,420,000	2,765,884	654,116	80.87%	1,661,202	796,850	3,630	10,000	0	202,586	86,076	0	5,540						2,765,884

※齋藤明議員は、7月24日付けで一新会加入のため、8月、9月分返納の上、8月、9月及び後期分を一新会へ交付しました。  
 ※武田哲議員は、7月27日付けで滝政会加入のため、8月、9月分返納の上、8月、9月及び後期分を滝政会へ交付しました。  
 ※日向清一議員は、7月27日付けで滝政会加入のため、8月、9月分返納の上、8月、9月及び後期分を滝政会へ交付しました。

**③ 討論(抜粋)**

**仲田孝行議員**  
**日本共産党**

本市の30年度一般会計予算は、歳入の面では地方消費税の都市間配分見直しと財政調整基金からの繰入金各々1億円の増になっていますが、国の施策によって地方交付税が1億3000万円減額されています。

歳出については、本市の主幹産業である農林水産業費が3200万円減、市民の安全・安心を担保する公共施設の維持補修費は対前年28%の減等、第1次滝沢市総合計画の最終年度として、計画の達成が懸念される予算編成となっています。

経常収支比率が92.4%で、市独自の施策を打ち出していくのは理解しますが、その原因が市当局の行財政運営に起因しているという点は指摘しておかなければなりません。

市当局は、30年度予算で「健康づくりは幸せづくり」のスローガンのもと「健康づくり宣言」を行い「幸せを実感できるまちづくり」を進めるとしていますが、健康であることは幸せであること、必要十分条件ではあり

**賛成(一般会計)**  
**角掛邦彦議員**  
**滝政会**

30年度は第1次滝沢市総合計画前期基本計画の最終年度、つまり「仕上げの年度」であります。

27年度から取り組んでいる財政構造改革も職員一体となって一歩一歩、着実に進んでいるものと推察します。

その中で30年度滝沢市一般会計予算は、前年度対比7.8%増の192億5500万円と過去最大規模となっています。

特に事業として復活した、JRR小岩井駅活性化

ません。制度的、物質的に当たり前の条件が充実されてこそ、幸福感が実感されるものにはなれません。

滝沢中央小学校の建設など評価すべき施策もありますが、全体として見れば地方自治の本旨である「住民の暮らしを守り福祉の向上をめざす」という視点では不十分な予算編成と言わざるを得ません。

以上の理由により、30年度滝沢市一般会計予算に反対することを表明して討論とします。